

テーマ

《うらやま》の豊かな自然を再発見しよう



まちと森が一体となった《うらやま》ゾーン

尾張北部地域は濃尾平野の奥に位置し、まちのすぐそばに丘陵地の森がせまっています。かつて、この森は、産業の場として、また、暮らしの糧を得る場として人々と深く関わりながら、結果として多くの生きものの生息場所になってきました。しかし、行きすぎた利用からはげ山となり、森を再生していくための取り組みを今でも続けているという、人の手による破壊と再生の歴史があります。現在では、生活スタイルの変化とともに、暮らしと森のつながりは失われ、そこにある自然も忘れられようとしています。一方で、この森は濃尾平野の上流の森として、下流部の洪水を防ぐなど、濃尾平野全体のまちの人々の暮らしを守る役割を今でも果たし続けています。

尾張北部地域では、地域を特徴づけ、今でもまちの人々の暮らしを守り、まちのすぐそばにあるこの森を、親しみと誇りをこめて《うらやま》と呼び、再び人々の心をこの森と自然に目を向けてもらうきっかけにしたいと思います。そして《うらやま》を風景として認識するだけでなく、うらやまの生態系のもつ価値を再発見するとともに、住民や土地所有者、行政などが協力して行動することによって、《うらやま》から地域へと自然を広げていきます。

取組の柱

- ・土地所有者の協力を得て《うらやま》の自然の価値を高める
- ・食やものづくりで《うらやま》の魅力を広くアピールする
- ・市の連携によって《うらやま》の自然を地域に広げる

平成 26 ~ 28 年度実施事業

尾張北部生態系ネットワーク協議会会員 (31 団体)

◆NPO・地域団体等 (19 団体)

(NPO) 犬山里山学研究所、(NPO) 海上の森の会、雑木林研究会、みろく山麓の自然を守る会、(NPO) グラウンドワーク東海、ふるさとの自然を愛するスズサイコの会、リオの会・こどもフォーラム、オアシスの森クラブ、おかざき自然体験の森・きこりの会、てんぱくプレーパークの会、(NPO) なごや東山の森づくりの会、みよし里山まもり隊、猿投の森づくりの会、宮前の森林倶楽部、木文化研究所、森羅21、日進里山リーダー会、豊田市自然観察の森、名東自然倶楽部

◆企業等 (4 団体)

徳倉建設(株)、中日本高速道路(株)、パブリックワークス犬山市アムニティ協会、エスペックミック(株)

◆大学・研究機関等 (3 団体)

中部大学、名古屋経済大学、(公財) 日本モンキーセンター

◆行政 (5 団体)

瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市、愛知県

- 生物多様性地域共同戦略策定の可能性を模索するための学習会の開催
 - ・地域が持つ財産（自然、文化、歴史、産業等）の洗い出し
- 地域連携保全計画の立案（最優先課題の明確化）
 - ・各市策定の既定計画等を基にした個別・共通課題の明確化
 - ・会員学習会及び外部活動団体との交流会による意見交換
- 活動場所の選定・活動計画の作成（最優先課題の実践計画作成）
 - ・「在来植生生育地の環境回復事業」等の実践計画の作成